第１１号様式

過去○○年間の同種工事の施工経験

工事名：

商号又は名称：

|  |  |
| --- | --- |
| ふりがな技術者氏名 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 国等、都道府県等または船橋市発注工事の経験あり | （発注者名及び工事完成（引渡）年度を記載） |
|  | 船橋市を除く市町村等発注　工事の経験あり | （発注者名及び工事完成（引渡）年度を記載） |
|  | その他 |

|  |  |
| --- | --- |
| 添付資料 |  |

（注記）

１．本工事に主任技術者または監理技術者として配置する予定の技術者（以下「技術者」という。）について作成してください。

２．実際の工事の施工にあたって、種々の状況からやむを得ないものとして発注者が承認した場合のほかは、本書に記載した技術者以外の者への変更は認めないので注意してください。

３．様式タイトル「過去○○年間」の「○○」は、入札公告に示している数字に変更してください。

４．同種工事は、入札公告の「別紙 施工計画等の評価項目等及び評価基準」に示している工事です。

５．該当する項目のいずれかひとつに「○」を付け、「その他」以外に「○」を付けた場合は発注者名及び工事完成（引渡）年度を記載してください。

６．共同企業体で従事した施工経験は、出資比率が２０％以上のものに限ります。

７．「○」を付けた項目の施工経験を証明できる資料（同種工事であることがわかる資料、その工事が竣工し引渡しが完了していることがわかる資料、従事していたことが確認できる資料）を添付してください。例えば、「登録内容確認書（工事実績）竣工登録」だけでは同種工事であることを証明できない場合は、「工事完成図面と登録内容確認書（工事実績）竣工登録」等のように複数の資料を添付してください。また、添付資料の欄にその資料名を記載してください。ただし、「その他」に「○」を付けた場合は不要です。なお、当該工事で技術者の途中交代があった場合は、従事期間が最も長い技術者のみを評価します。（余裕期間制度を用いた工事の場合は、配置を要しない期間は除きます。）ただし、工場製作を含む工事において工場製作期間と現地据付期間で配置技術者を分けて従事した場合は、現地据付期間の技術者の経験を評価する。

８．施工経験を有する工事は、「過去○○年間の同種工事の施工実績（第５号様式）」の工事と同一でなくても構いません。同一の場合は、添付資料の欄に「第５号様式の添付資料と同じ」と記載すれば、施工経験を証明する資料の添付は不要です。

９．産前・産後・育児・介護の各休業により休業した場合で、評価対象期間に休業期間相当分を加えた期間で申請する場合は、休業期間を証明できる資料（事業主が労働者に休業期間を通知した書面等）を添付してください。